

## 情報処理学会「喜安記念業績賞」受賞

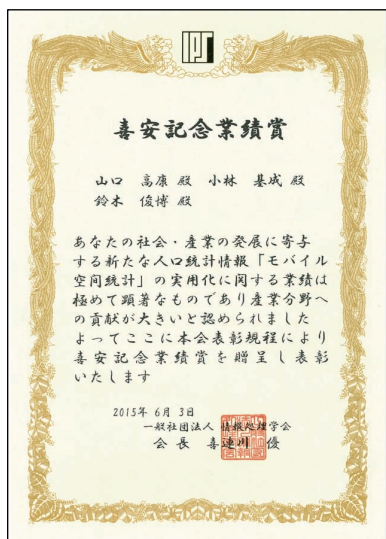
先進技術研究所の山口 高康氏，ビジネス基盤推進室の小林 基成氏，スマートライフ推進部の鈴木 俊博氏†の3氏は“社会・産業の発展に寄与する新たな人口統計情報「モバイル空間統計」の実用化”の業績により，2015年6月3日に一般社団法人情報処理学会から2014年度「喜安記念業績賞」を受賞しました。

喜安記念業績賞は、「情報技術に関する新しい発明，新しい機器や方式の開発・改良，あるいは事業化プロジェクトの推進において，顕著な業績をあげ，産業分野への貢献が明確になったもの」に対し，その貢献者に贈呈されるものです。2013年には，ドコモは“音声エージェントサービス「しゃべってコンシェル」の

開発”で2012年度「喜安記念業績賞」を受賞しています。

今回，受賞対象となった「モバイル空間統計」は，携帯電話の在圏情報などから推計された24時間×365日の日本全国の人口統計情報です。5年ごとに実施されている国勢調査を補完する画期的な統計情報として高く評価されています。また，さまざまな分野で実用化されており，具体的には，まちづくり分野では柏市商圏調査，防災計画分野では埼玉県帰宅困難者推計調査，観光分野では沖縄県外観光客調査など，政策の意思決定を支える新たな人口統計情報として，社会・産業の発展への貢献が評価されました。

また「モバイル空間統計」は，総務省研究会報告書や各種メディアなどでビッグデータの先行的な事例として紹介されており，携帯電話サービスのお客様にご安心頂けるよう，プライバシー保護の仕組みの導入や自主ガイドラインの公開など，有識者研究会の検討結果に基づく措置を通じて社会から受容されることにも成功している点が評価され，今回の受賞となりました。



† 現在，株式会社ドコモ・インサイトマーケティング出向中